

七条中学校だより6月16号

京都市立七条中学校

令和8年6月19日

発行:校長 林 秀雄

第1回定期テストを終えて ～成果を次へつなげるために～

第1回定期テストが本日で終了しました。生徒の皆さん、本当によく頑張りました。日々の学習に加え、計画的に準備を進めてきた人、苦手な教科に粘り強く取り組んだ人など、それぞれが自分なりの努力を積み重ねてきたことと思います。テストを終え、緊張感から解放されて「何をしようかな」と楽しみにしている人も多いことでしょう。ぜひ、羽目を外しすぎない範囲で、自分の時間を大切に過ごしてください。心と体をリフレッシュすることも、次の学びへの大切な準備です。

さて、今回のテストを通して、皆さんはそれぞれ「できたこと（成果）」と「できなかったこと（課題）」の両方を感じたのではないのでしょうか。この経験を生かすことが、次の成長につながります。そのために大切なポイントを、分かりやすくお伝えします。

まず大切なのは、結果を正しく見ることです。テストが返却されたら、点数だけで判断するのではなく、「どこができて、どこができなかったのか」をしっかりと確認しましょう。計算ミスなのか、問題の読み違いなのか、それとも理解が不十分だったのか——原因をはっきりさせることが第一歩です。

次に、間違いを大切にすることです。間違えた問題は、決して悪いものではありません。むしろ、自分が成長するための大切なヒントです。間違えた問題を解き直し、「なぜ間違えたのか」「正しくはどう考えるのか」を理解することで、同じミスを防ぐ力が身につきます。

さらに、勉強のやり方を振り返ることも重要です。計画的に進められていたか、直前になって慌てていなかったか、ただ問題を解くだけで満足していなかったかなど、自分の学習方法を見直してみましょう。そして次に向けて、「毎日少しずつ取り組む」「分からない問題をそのままにしない」「人に説明できるまで理解する」といった改善を心がけてください。そして、日常の積み重ねを大切にすることです。

テスト後は気が緩みがちですが、授業を大切に受けること、宿題を確実にこなすこと、毎日の小さな努力を積み重ねることが、確かな力となります。今回のテストは、一人ひとりにとって大きな学びの機会でした。成果に自信を持つとともに、課題から目をそらさず、次へとつなげていきましょう。

ガッツポーズ

先日ガッツ石松さんが、ご逝去されました。昭和を代表するプロボクサーで、日本人として初めて世界チャンピオンになった方です。試合に勝った瞬間、拳を高く突き上げて喜びを表した姿が話題となり、ここから「ガッツポーズ」という言葉が日本中に広まりました。今ではスポーツだけでなく、日常の中でも「やった」という気持ちを表す動作として広く使われています。

ガッツポーズには、ただの喜びの表現以上の意味があります。胸を張り、拳を上げる姿勢は脳に「自分ができる」という信号を送り、自信を引き出します。また、体を大きく動かすことで緊張がほぐれ、気持ちの切り替えにもつながります。さらに、仲間への「いけるぞ」という前向きなメッセージにもなり、チーム全体の空気を明るくする力があります。まさに、心と体を前向きにするスイッチと言えるでしょう。

6月20日の陸上競技を皮切りに、夏季大会が始まります。これまで積み重ねてきた練習の成果を、ぜひ思い切り発揮してほしいと思います。みなさんは、これまで様々な困難がありました。それでも前に進み続けてきました。そして、みなさんのすぐそばには、いつも支えてくれた人がいます。朝の送り出し、部活の準備、体調管理、励ましの言葉。その一つひとつが、みなさんの力になってきました。夏季大会は、自分の力を出し切る日であると同時に、支えてくれた人に「ここまで頑張ってきた自分」を見せる日でもあります。

ただし、全ての選手が試合に出場できるわけではありません。それでも、みなさん一人ひとりがチームにとって欠かせない存在です。控え選手としてベンチから声を枯らして仲間を支える人、ウォーミングアップでチームの空気をつくる人、練習で誰よりも真剣に取り組むチームの底力を上げてきた人、応援席から全力で声を届ける人。そのすべてが、チームの勝利をつくる力です。だからこそ、試合に出る人も、控え選手として支える人も、応援している人も、自分の役割に誇りを持ってほしいと思います。そして、仲間が得点した瞬間、良いプレーが出た瞬間、チームが一つになったと感じた瞬間には、思い切りガッツポーズをしてください。そのガッツポーズには、みなさんの努力、仲間との絆、そして支えてくれた人への感謝が全部つまっています。みなさんが全力で戦い、全力で支え、全力で喜び姿を見るのを心から楽しみにしています。

【保護者の皆さまへ】

日頃より本校の教育活動に温かいご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。生徒たちが日々の練習に励み、仲間と支え合いながら成長していく姿の背景には、保護者の皆さまの日々の温かな支えがあります。夏季大会では、どうかお子さまが仲間と共に懸命に取り組む姿を温かく見守り、応援していただければ幸いです。